



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月5日

上場会社名 日本石油輸送株式会社 上場取引所 東
コード番号 9074 URL <https://www.jot.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 昌一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務部長 (氏名) 松井 克浩 (TEL) 03(5496)7671
兼資産運用部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	8,247	4.5	△66	—	37	△35.5	142	462.9
2024年3月期第1四半期	7,895	—	△52	—	58	△74.3	25	△83.5

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 366百万円 (69.7%) 2024年3月期第1四半期 216百万円 (△48.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	43.00	—
2024年3月期第1四半期	7.64	—

(注) 2024年3月期第3四半期連結会計期間から、鉄道輸送用コンテナ売却の計上方法についての会計方針の変更を行ったことにより、2024年3月期第1四半期に係る売上高および営業利益については、当該会計方針の変更を遡って適用した組替え後の数値となっております。これにより、2024年3月期第1四半期に係る売上高および営業利益の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	40,731	25,207	61.9
2024年3月期	41,089	25,006	60.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 25,207百万円 2024年3月期 25,006百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	16,200	△0.0	100	△40.7	200	△30.5	300	41.1	90.71
通期	35,500	1.5	1,500	△4.0	1,650	△7.7	1,200	4.0	362.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）鉄道輸送用コンテナ売却の計上方法についての会計方針の変更を前第3四半期連結会計期間に行ったため、2024年3月期第2四半期連結累計期間についても組替えを行います。このため、上記の第2四半期連結累計期間の予想値の対前年同四半期増減率については、組替え後の数値から算定した増減率を記載しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	3,322,935株	2024年3月期	3,322,935株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	15,578株	2024年3月期	15,552株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	3,307,367株	2024年3月期1Q	3,307,670株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(追加情報)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復傾向にありますが、円安の進行や物価高騰に加え、海外経済の下振れリスクの影響等もあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業環境につきましても、エネルギー価格や原材料価格の高騰に加え、物流業界の2024年問題による一層の乗務員不足が懸念されるなど、厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、新たな中期経営計画（2024年度～2026年度）のもとで、安全・安定輸送を継続しつつ、石油、国内化成品、コンテナ輸送等の基盤事業における収益の維持・向上や、LNG、海外化成品輸送等の成長事業における規模拡大に向けた諸施策に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,247百万円（前年同期比4.5%増）となりましたが、利益面においては人件費や修繕費等の経費の増加により、66百万円の営業損失（前年同期は52百万円の営業損失）となり、経常利益は37百万円（前年同期比35.5%減）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却益により142百万円（同462.9%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(石油輸送事業)

鉄道輸送における出荷地変更の影響等による輸送数量の増加に加え、自動車輸送における主要顧客の運賃改定等により、売上高は3,679百万円（前年同期比5.3%増）、セグメント利益は7百万円（前年同期は66百万円のセグメント損失）となりました。

(高圧ガス輸送事業)

運賃改定の進捗やLNG輸送における需要増により、売上高は2,112百万円（前年同期比1.9%増）となりました。一方、利益面においては人件費等の経費の増加により、105百万円のセグメント損失（前年同期は74百万円のセグメント損失）となりました。

(化成品・コンテナ輸送事業)

化成品輸送においては、新規顧客の開拓や幅広い需要に着目した積極的な営業活動を展開し、売上高は増加いたしました。

コンテナ輸送においては、使用料適正化に向けた取り組み等を進めた結果、売上高は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は2,318百万円（前年同期比6.0%増）となりましたが、成長投資に伴う償却費の増加等により、41百万円のセグメント損失（前年同期は14百万円のセグメント利益）となりました。

(資産運用事業)

不動産事業は前年並みに推移いたしました。太陽光発電事業において減収となり、売上高は137百万円（前年同期比1.8%減）、セグメント利益は73百万円（同2.0%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は40,731百万円となり、前連結会計年度末に比べ358百万円減少いたしました。

流動資産は10,814百万円となり、前連結会計年度末に比べ669百万円減少いたしました。これは主に季節変動による受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。固定資産は29,916百万円となり、前連結会計年度末に比べ311百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が時価変動により増加したことによるものであります。

負債は15,523百万円となり、前連結会計年度末に比べ559百万円減少いたしました。これは季節変動による支払手形及び買掛金の減少と、法人税等の支払により未払法人税等が減少したことおよび賞与の支払により賞与引当金が減少したことによるものであります。純資産は25,207百万円となり、前連結会計年度末に比べ201百万円増加いたしました。これは主に配当金の支払により利益剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.0ポイント上昇し、61.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期（累計）および通期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日の決算発表にて公表いたしました業績予想値より変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,515	6,418
受取手形、売掛金及び契約資産	4,064	3,220
その他	903	1,176
流動資産合計	11,484	10,814
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,457	2,432
コンテナ(純額)	2,362	2,290
土地	5,925	5,924
リース資産(純額)	7,155	7,078
その他(純額)	2,376	2,446
有形固定資産合計	20,277	20,172
無形固定資産		
ソフトウェア	202	243
その他	178	152
無形固定資産合計	381	395
投資その他の資産		
投資有価証券	7,257	7,606
退職給付に係る資産	63	58
その他	1,625	1,684
投資その他の資産合計	8,946	9,348
固定資産合計	29,605	29,916
資産合計	41,089	40,731
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,680	1,438
短期借入金	301	338
未払法人税等	408	142
賞与引当金	860	467
役員賞与引当金	122	28
その他	4,115	4,489
流動負債合計	7,488	6,905
固定負債		
リース債務	5,103	5,046
修繕引当金	352	421
退職給付に係る負債	1,647	1,637
その他	1,490	1,512
固定負債合計	8,594	8,618
負債合計	16,082	15,523

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	290	290
利益剰余金	20,452	20,429
自己株式	△38	△38
株主資本合計	22,366	22,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,614	2,832
繰延ヘッジ損益	—	3
退職給付に係る調整累計額	25	28
その他の包括利益累計額合計	2,640	2,864
純資産合計	25,006	25,207
負債純資産合計	41,089	40,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	7,895	8,247
売上原価	7,346	7,676
売上総利益	548	571
販売費及び一般管理費	601	638
営業損失(△)	△52	△66
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	85	91
固定資産売却益	14	7
持分法による投資利益	17	19
雑収入	30	25
営業外収益合計	148	143
営業外費用		
支払利息	20	23
固定資産除売却損	9	7
雑損失	7	7
営業外費用合計	37	39
経常利益	58	37
特別利益		
投資有価証券売却益	—	201
特別利益合計	—	201
特別損失		
事業所移転損失	—	33
連結子会社周年記念費用	32	—
特別損失合計	32	33
税金等調整前四半期純利益	25	205
法人税等	0	63
四半期純利益	25	142
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	25	142

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	25	142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	174	215
繰延ヘッジ損益	2	3
退職給付に係る調整額	10	2
持分法適用会社に対する持分相当額	4	2
その他の包括利益合計	190	224
四半期包括利益	216	366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	216	366
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(会計方針の変更)

(鉄道輸送用コンテナ売却の計上方法の変更)

前第3四半期連結会計期間より、経常的に発生する鉄道輸送用コンテナの売却に関して、処分益の純額を営業外収益に計上する方法から、スクラップ処分する一部のコンテナを除き、販売金額を「売上高」に、商品払出金額を「売上原価」に計上する方法に変更しております。

遡及適用により当年度に比較情報として開示する前年度の四半期連結財務諸表と、前年度に開示した四半期連結財務諸表に適用した会計方針との間に相違がみられます。

前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書については、「営業外収益」の「固定資産売却益」に含まれる16百万円を組替え、「売上高」が19百万円、「売上原価」が2百万円それぞれ増加しております。なお、1株当たり情報に対する影響額および、会計方針の変更による遡及適用の累積的影響額ははありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	877百万円	890百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	石油輸送	高压ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	資産運用	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,494	2,073	2,187	140	7,895	—	7,895
セグメント間の内部売上高又は振替高	117	1	22	—	141	△141	—
計	3,612	2,074	2,209	140	8,036	△141	7,895
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△66	△74	14	74	△52	—	△52

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「四半期連結財務諸表に関する注記事項（追加情報）（会計方針の変更）」に記載のとおり、前第3四半期連結会計期間より、経常的に発生する鉄道輸送用コンテナの売却に関して、処分益の純額を「営業外収益」に計上する方法から、スクラップ処分する一部のコンテナを除き、販売金額を「売上高」に、商品払出金額を「売上原価」に計上する方法に変更しております。

これに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても組替えを行っています。当該変更により、組替え前に比べて「化成品・コンテナ輸送セグメント」の売上高が19百万円、セグメント利益が16百万円増加しています。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	石油輸送	高压ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	資産運用	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,679	2,112	2,318	137	8,247	—	8,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	130	1	21	—	152	△152	—
計	3,809	2,113	2,339	137	8,400	△152	8,247
セグメント利益又はセグメント損失(△)	7	△105	△41	73	△66	—	△66

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。